

令和7年度

地域とともにある学校づくり

保谷第一小学校 4年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： 私たちの未来を守るために
(活動名)

ねらい： SDGsの中のいくつかの目標について、詳しく調べたり、実際に体験したりすることを通して、この地域をSDGsの視点から見つめ直し、地域への愛着や自分ができることへの実践意欲をもてるようにする。

【9月25日】藍染体験

3年生のときに種を蒔いた藍を、夏休み中も交代で水やりを続けました。害虫が発生することもあり苦労しましたが、心をこめて藍を育てました。そして自分たちで収穫し、1枚1枚丁寧に並べ、乾燥させました。最後に、「下保谷の自然と文化を記録する会」の皆さんに力を貸していただき、藍染のハンカチを一人一枚作りました。様々な模様仕上がるハンカチを嬉しそうに眺める子供たち。保谷の藍には歴史があることを知り、地域への愛着を深めました。



【12月10日】SDGs チャリティバザー

古着やペットボトルのキャップ、トイレットペーパーの芯など本来なら捨てられてしまう物を使って、エコバッグやアクセサリを作り、チャリティバザーを開きました。そこでは節電や節水、食品ロス削減などSDGsについて調べてきた成果の発表をしたり、ジェンダー平等についての劇を行ったりと、充実した内容を保護者の方にお届けすることができました。2学期の総まとめとして行われたバザーでしたが、実践を通してSDGs達成への思いを新たにしました子供たちでした。なお、バザーの売り上げはワールドギフトプロジェクトというチャリティプロジェクトに使う予定であり、次の学びへとつながっています。



まとめ コラム

1, 2学期を通して、ゲストティーチャーからお話を聞いたり、藍染めやバザーなどの実践をしたりと、知識と経験をたくさん積んできました。3学期は自分たちの学びや実践を見つめ直し、SDGsの視点をもって、地域とのかかわり方やこれからの自分の生き方について考えていきます。